

大和市職員育成基本方針改正のための職員アンケート
(単純集計結果)

令和6年度 総務部 人財課

調査の概要

1. 調査目的

大和市職員育成基本方針の改定に向け、職員が日頃考えている人事制度の在り方や研修制度等に対する意見を把握し、方針改定の基礎資料とするため。

2. 調査対象者

行政職給料表（Ⅰ）適用職員（任期付職員・臨時的任用職員を除く）、再任用職員

3. 調査方法

グループウェアdesknet' sNEO アンケート機能を利用

4. 調査期間

令和6年6月3日（月）から令和6年6月28日（金）まで

5. 回答状況

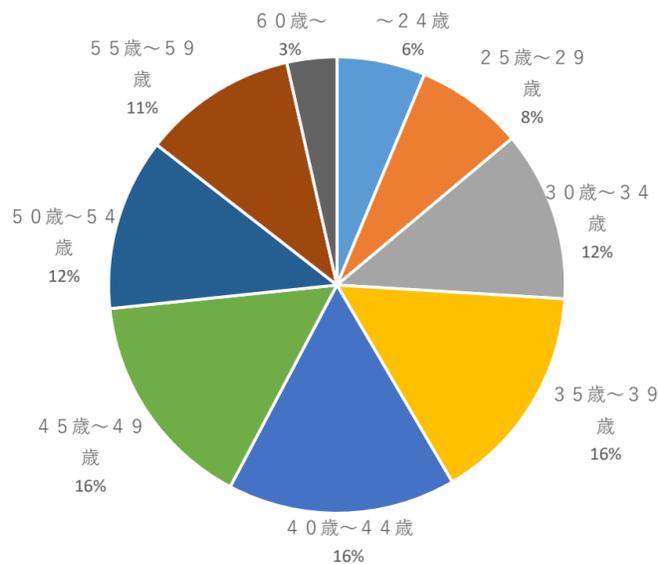
調査対象者数	回答数	回答率
1,076	878	81.6%

6. 留意事項

端数処理により、合計が100%とならない場合があります。

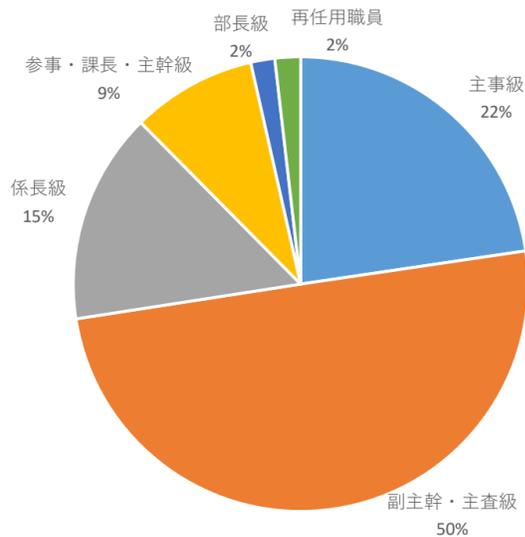
年 代

	度数	割合	対象者数	回答率
～24歳	55	6%	57	96%
25歳～29歳	67	8%	85	79%
30歳～34歳	106	12%	131	81%
35歳～39歳	137	16%	177	77%
40歳～44歳	142	16%	172	83%
45歳～49歳	137	16%	160	86%
50歳～54歳	107	12%	132	81%
55歳～59歳	96	11%	121	79%
60歳～	31	4%	41	76%
合計	878	100%	1,076	82%



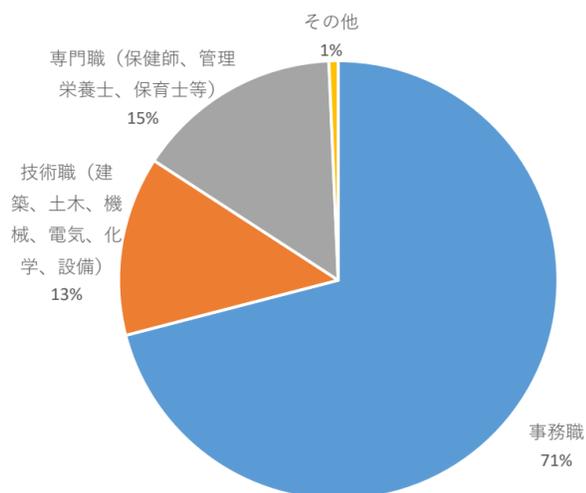
職 位

	度数	割合	対象者数	回答率
主事級	199	23%	225	88%
副主幹・主査級	438	50%	568	77%
係長級	132	15%	150	88%
参事・課長・主幹級	78	9%	96	81%
部長級	15	2%	17	88%
再任用職員	16	2%	20	80%
合計	878	100%	1,076	82%



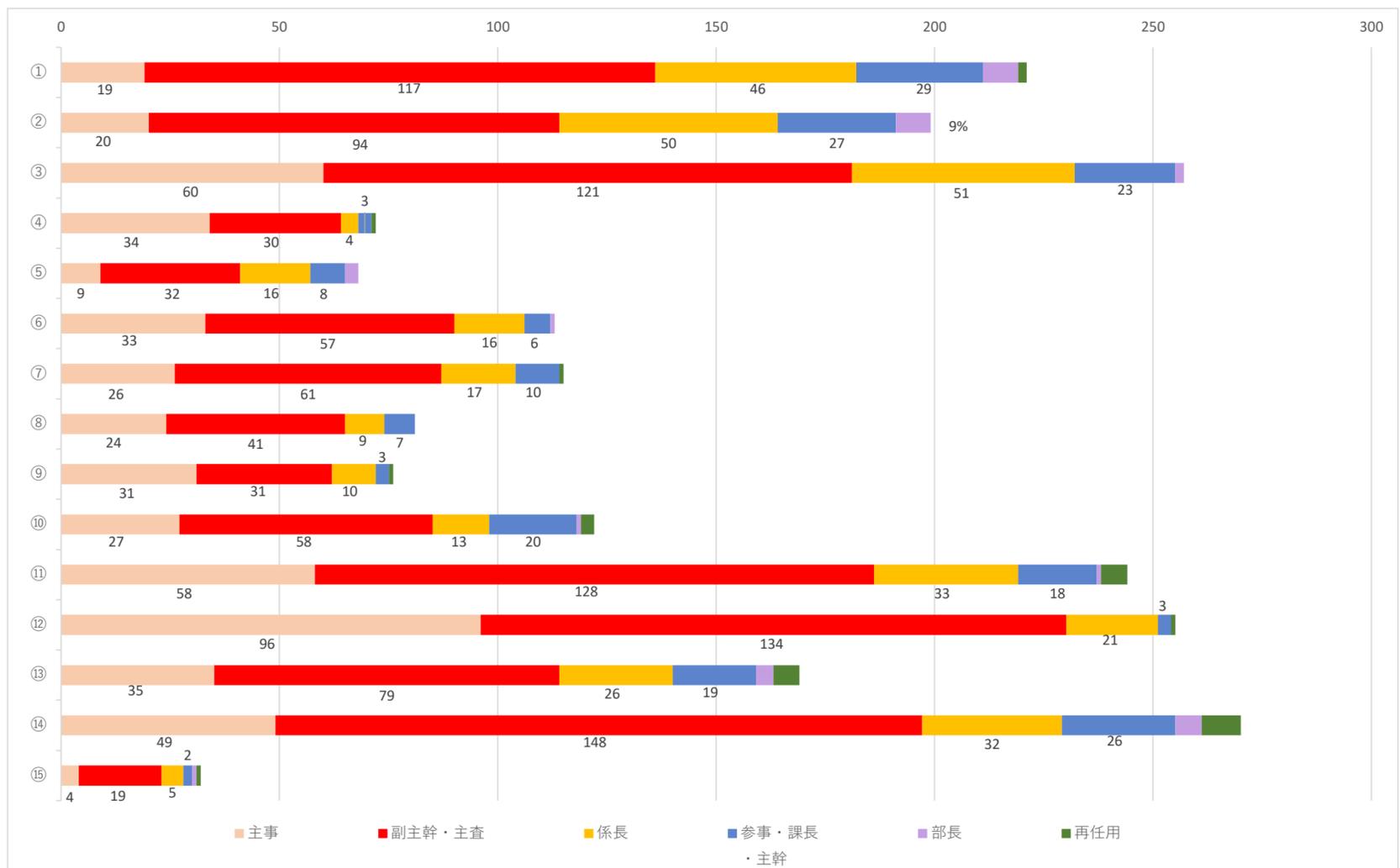
職 種

	度数	割合	対象者数	回答率
事務職	623	71%	784	79%
技術職（建築、土木、機械、電気、化学、設備）	116	13%	133	87%
専門職（保健師、管理栄養士、保育士等）	133	15%	159	84%
その他	6	1%	—	—
合計	878	100%	1,076	82%



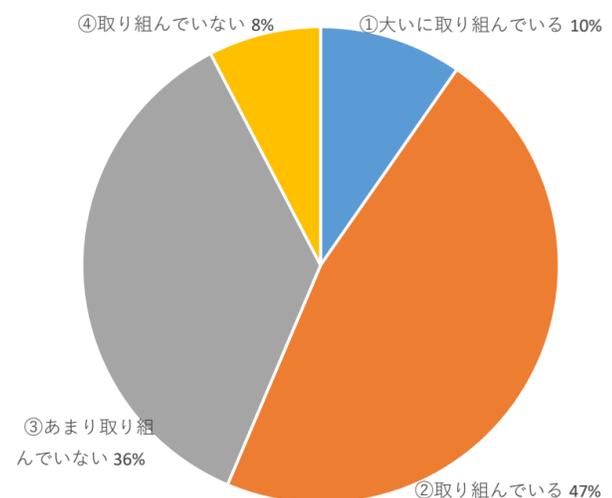
Q01.ご自身の階層に必要なだと考える研修内容を教えてください。(3つまで)

	度数	割合	主事	副主幹・主査	係長	参事・課長・主幹	部長	再任用
①後輩や部下を育成する能力を高める研修	221	10%	19	117	46	29	8	2
②マネジメント能力やリーダーシップを高める研修	199	9%	20	94	50	27	8	0
③組織内での調整力やコミュニケーション能力を高める研修	257	11%	60	121	51	23	2	0
④市民とのコミュニケーション能力を高める研修	72	3%	34	30	4	3	0	1
⑤政策形成能力を高める研修	68	3%	9	32	16	8	3	0
⑥法務能力を高める研修	113	5%	33	57	16	6	1	0
⑦発想力や企画提案力を高める研修	115	5%	26	61	17	10	0	1
⑧情報発信力やプレゼンテーション能力を高める研修	81	4%	24	41	9	7	0	0
⑨キャリア形成を学ぶ研修	76	3%	31	31	10	3	0	1
⑩メンタルヘルス向上(セルフケア・ラインケア)に関する研修	122	5%	27	58	13	20	1	3
⑪組織や業務の知識・技能の継承や引継ぎを学ぶ研修	244	11%	58	128	33	18	1	6
⑫実務能力(資料作成や業務効率化)を高める研修	255	11%	96	134	21	3	0	1
⑬自身の階層に求められる役割を学ぶ研修	169	7%	35	79	26	19	4	6
⑭デジタル時代に対応するための能力を高める研修	270	12%	49	148	32	26	6	9
⑮その他	32	1%	4	19	5	2	1	1
合計	2,294	100%	525	1,150	349	204	35	31



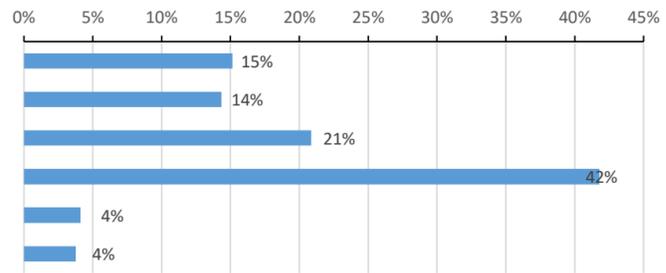
Q02.新たな知識や能力を深める又は身につけるため、自発的学習や自己啓発に取り組んでいますか。(1つのみ)

	度数	割合
①大いに取り組んでいる	85	10%
②取り組んでいる	410	47%
③あまり取り組んでいない	316	36%
④取り組んでいない	67	8%
合計	878	100%



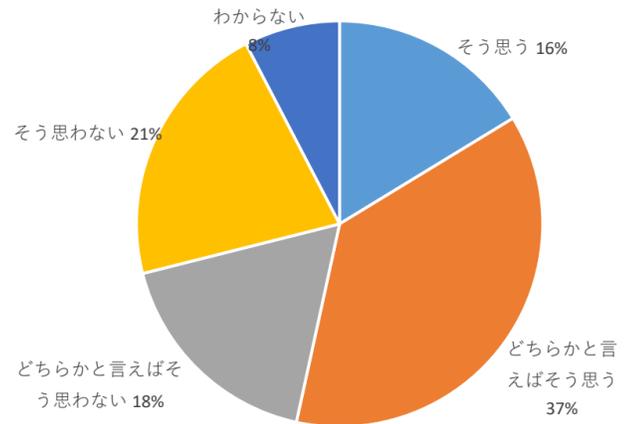
Q 0 3.自発的学習や自己啓発に取り組むためにはどのような支援や制度等があると良いですか。（1つのみ）

	度数	割合
資格取得等のスキルアップに対する金銭的な支援・奨励	133	15%
業務に係る自発的学習によるスキルアップの評価反映	126	14%
取り組みやすい職場環境がある	183	21%
学習時間（ワーク・ライフ・バランス）の確保	367	42%
支援等は必要ない	36	4%
その他	33	4%
合計	878	100%



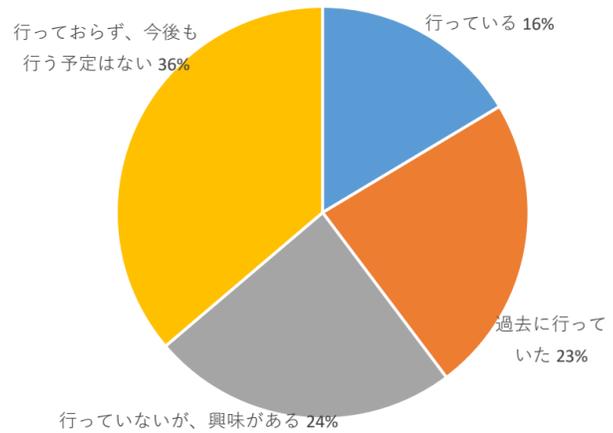
Q 0 4.自宅等での自発的学習を促進するために、行政関連テーマやITスキル等について学ぶことができる動画プラットフォームを用意した場合、活用できると思いますか。

	度数	割合
そう思う	143	16%
どちらかと言えばそう思う	326	37%
どちらかと言えばそう思わない	155	18%
そう思わない	187	21%
わからない	67	8%
合計	878	100%



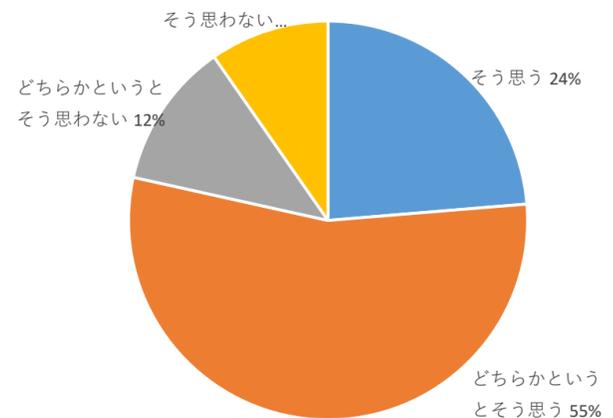
Q 0 5.職務以外で地域活動やボランティア活動を行っていますか。

	度数	割合
行っている	144	16%
過去に行っていた	205	23%
行っていないが、興味がある	211	24%
行っておらず、今後も行う予定はない	318	36%
合計	878	100%



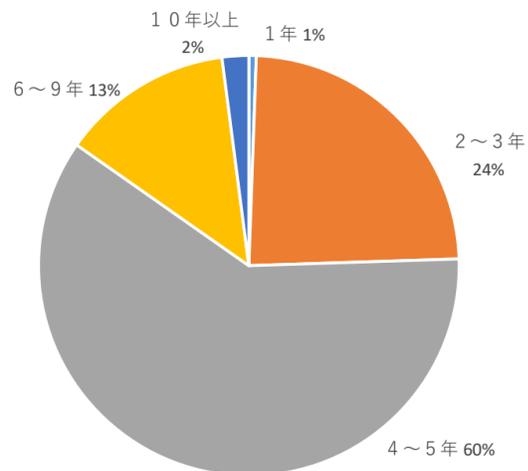
Q 0 6.職務以外での地域活動やボランティア活動は、自身の成長に寄与すると思いますか。（1つのみ）

	度数	割合
そう思う	208	24%
どちらかというそう思う	481	55%
どちらかというそう思わない	104	12%
そう思わない	85	10%
合計	878	100%



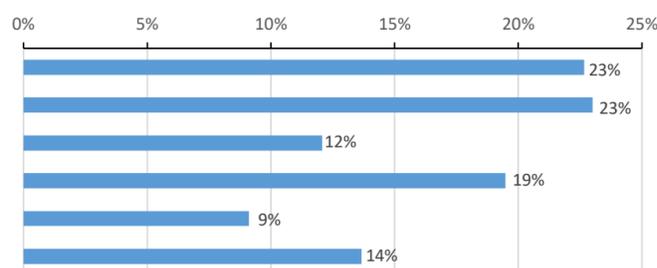
Q07.人事異動の理想的なスパンはどれくらいだと思いますか。(1つのみ)

	度数	割合
1年	5	1%
2～3年	210	24%
4～5年	529	60%
6～9年	116	13%
10年以上	18	2%
合計	878	100%



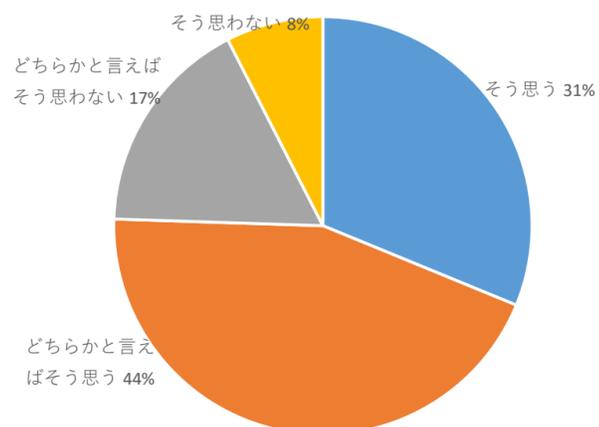
Q08.自身のキャリアを形成する上で課題と考えていることはありますか。(1つのみ)

	度数	割合
子育てや介護中でも柔軟に働ける勤務形態や職場環境が整備されていない。	199	23%
キャリアを積む時期と子育ての時期が重なること。	202	23%
同じ部署の職員同士で互いに協力する体制が整っていない。	106	12%
自身の能力開発を両立できる環境にない。	171	19%
トラブル等が発生した際の相談や支援体制が整備されていない。	80	9%
その他	120	14%
合計	878	100%



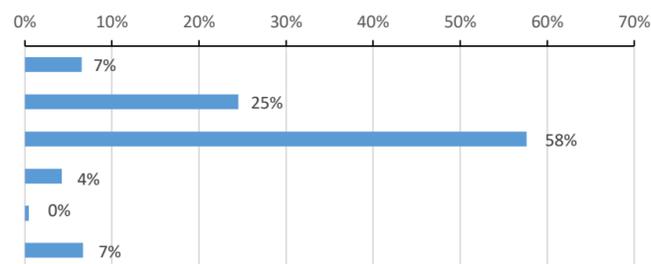
Q09.現在の職場は働きやすい職場ですか。(1つのみ)

	度数	割合
そう思う	274	31%
どちらかと言えばそう思う	389	44%
どちらかと言えばそう思わない	149	17%
そう思わない	66	8%
合計	878	100%



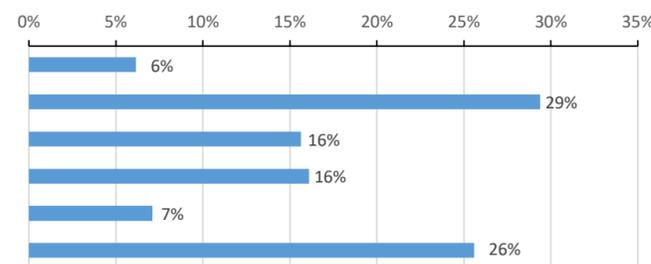
Q10.「Q09」において①、②を選んだ方にお聞きます。働きやすいと考える理由は何ですか。(1つのみ)

	度数	割合
相談体制が整備されている	43	7%
ワーク・ライフ・バランスが確保されている	162	25%
上司や部下、同僚間のコミュニケーションがとれている	381	58%
業務改善に対する意識や取り組みがある	28	4%
職員のスキルアップ向上のための手法や教育体制が整備されている	3	0%
その他	44	7%
合計	661	100%



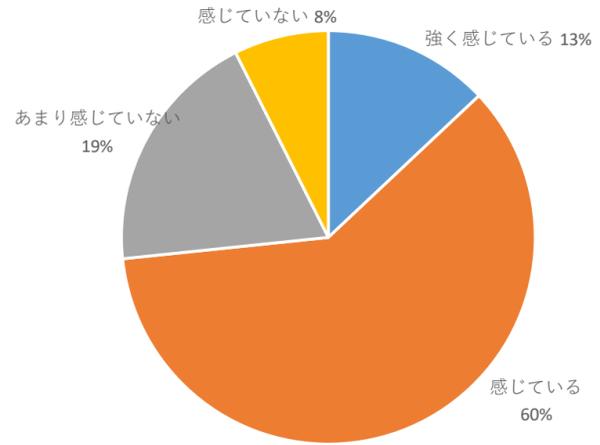
Q11.「Q09」において③、④を選んだ方にお聞きます。働きやすい理由は何ですか。(1つのみ)

	度数	割合
相談体制が整備されていない	13	6%
ワーク・ライフ・バランスが確保されていない	62	29%
上司や部下、同僚間のコミュニケーションがとれていない	33	16%
業務改善に対する意識や取り組みがない	34	16%
職員のスキルアップ向上のための手法や教育体制が整備されていない	15	7%
その他	54	26%
合計	211	100%



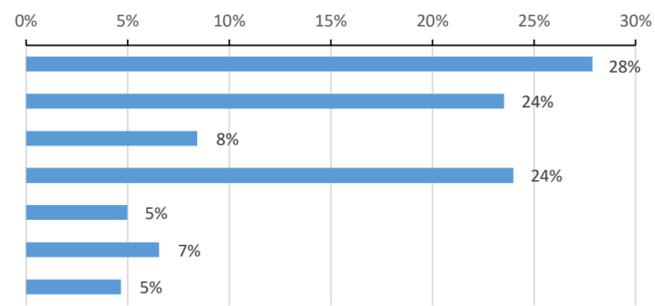
Q12.現在の業務についてやりがいを感じていますか。(1つのみ)

	度数	割合
強く感じている	114	13%
感じている	530	60%
あまり感じていない	169	19%
感じていない	65	7%
合計	878	100%



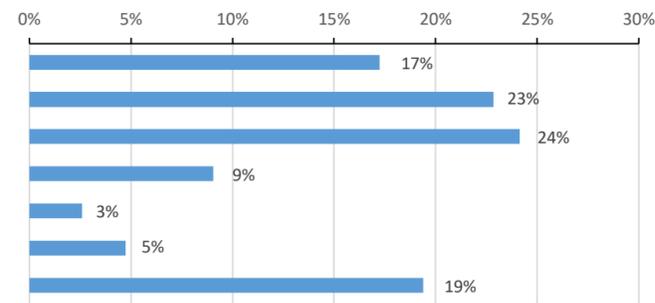
Q13.「Q12」において①、②を選んだ方にお聞きます。やりがいを感じている理由は何ですか。(1つのみ)

	度数	割合
市民のためになっていると感じられる	179	28%
自分自身の能力や個性を十分発揮できる	151	24%
努力や目標の達成感がある	54	8%
職場の人間関係やチームワークがよい	154	24%
新しい事業に取り組むことができる	32	5%
自身の提案や意見が職場の業務に反映されていると感じられる	42	7%
その他	30	5%
合計	642	100%



Q14.「Q12」において③、④を選んだ方にお聞きます。やりがいを感じていない理由は何ですか。(1つのみ)

	度数	割合
市民のためになっていると感じられない	40	17%
自分自身の能力や個性を十分発揮できない	53	23%
努力や目標の達成感がない	56	24%
職場の人間関係やチームワークがわるい	21	9%
新しい事業に取り組むことができない	6	3%
自身の提案や意見が職場の業務に反映されていると感じられない	11	5%
その他	45	19%
合計	232	100%



Q15.多様な人材や働き方を受け入れて、風通しの良い、誰もが働きやすい職場となるために、市や市職員にとって必要なことは何だと思われますか。(3つまで)

	度数	割合
子育てや介護、ボランティア活動等と仕事の両立(ワーク・ライフ・バランスの向上)	459	21%
時差勤務や在宅勤務の推進などによる多様な働き方の選択肢	415	19%
男女共同参画に対する職員の意識向上	23	1%
女性職員の活躍推進	43	2%
性的少数者に関する職員の理解向上	3	0%
障がいのある職員でも働きやすい職場となるような職務上の配慮	26	1%
心身ともに健康に働き続けられること	633	29%
ハラスメントに対する職員の意識向上	270	13%
管理職のリーダーシップ	173	8%
その他	110	5%
合計	2,155	100%

